

## 報告 2

## 積極的な運動支援の効果

### 子どもの運動能力は向上するか？

#### 概要

幼児期運動指導（運動遊び指導）リーダー保育者養成研修を受けた先生のクラスの子どもたちの運動能力の変化をみた。運動遊びを取り入れる前後で、担任の先生がそれぞれ測定を行った結果、3歳と4歳のいくつかの項目で成績が向上していた。4歳では差がみられなかったが、ばらつきが大きかったことが原因だと考えられる。積極的に運動遊びに取り組むことの成果がみられたといえる。

#### 実験の実施について

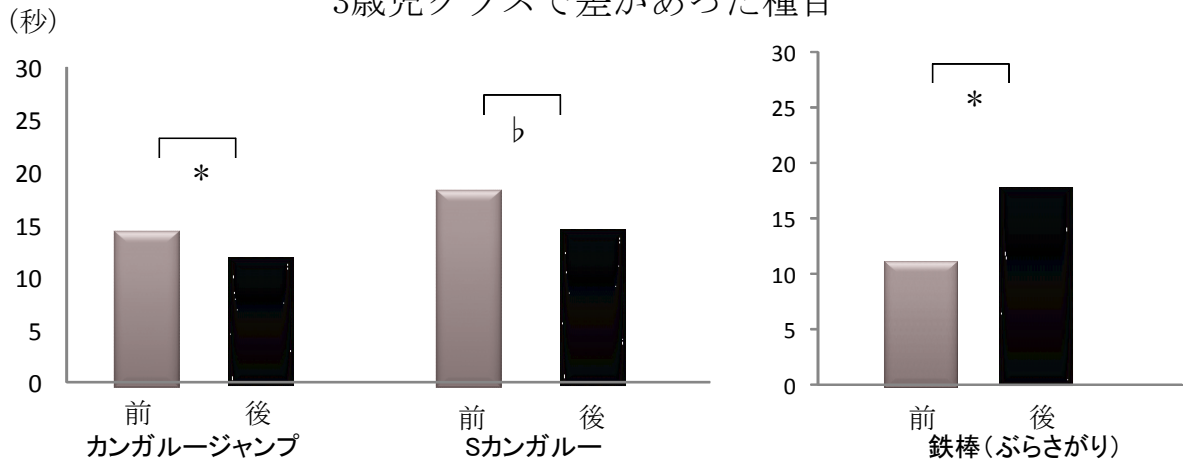
運動遊びを実践することで子どもたちの運動能力が向上するか評価するために、P9に記載した動きで評価した。

測定は、担任の先生に任せた。子どもによって、測定ができなかった項目がある。特に3歳児の鉄棒で、肘つけぶら下がりできない子が多かったようだ。

調査対象の園は59園である。

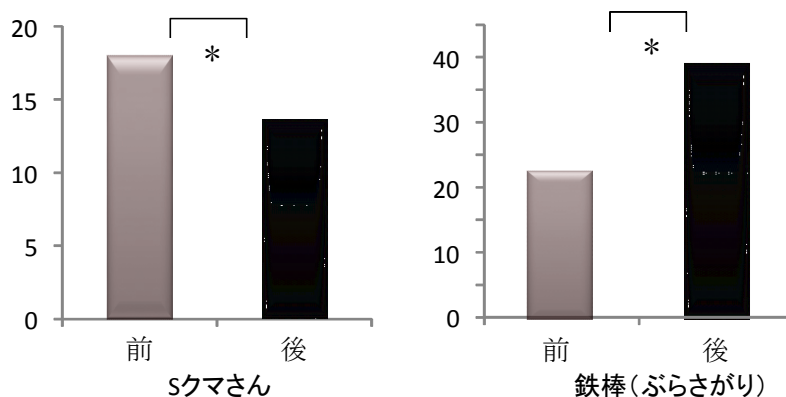
#### 結果

##### 3歳児クラスで差があった種目



有意差のあった項目の測定値は以下の通りである。カンガルー（前 vs. 後：14.8 ± 1.1 vs. 12.2 ± 0.6），Sカンガルー（18.7 ± 1.5 vs. 14.9 ± 0.8），鉄棒（11.3 ± 1.3 vs. 17.8 ± 2.6）。

##### 5歳児クラスで差があった種目



スクマさん：ジグザグクマさん, Sカンガルー：ジグザグカンガルー。  
(\*:  $p < 0.05$ , b:  $p < 0.1$ )

有意差のあった項目の測定値は以下の通りである。スクマ（18.2 ± 2.3 vs. 13.7 ± 1.1），鉄棒（22.2 ± 2.7 vs. 39.4 ± 5.4）。